令和 3 年度事業評価シート

וז אין	U	一尺于不 可	ш /			古沙古	
PLAN(計画)		自己評価				事務事 業番号	23
担 当	課	都市整備課		担当課	長	井上 英詞	
事業担	当 者	高橋 和也		一次評価	i 者	阿部 哲也	<u></u>
事 業 区		継続事業		事務事業評価の	の履歴		有
事 務 事 名	業	生活環境基盤整備	事業				
予 算 科		8 款 1	項 2 目				
予 算 事 名		生活環境基盤整備	事業費				
総合計画での位 (施 策	名)	住み良い生活環境	をつくる				
事 業 の 格	性	自 治 事 和	务				
法令根	拠	_	1				
事業の	対	全住民、町全域					
象 ————————————————————————————————————							
事 業 の 的	目	行政区毎に提出され 浚渫を行い、住みよ る破損や開渠側溝 新・補修を実施する	:い環境の維持に こなっているため	寄与するもの。ま 、ケガをする等の	た、排 不安を	水路施設が 抱いている	が老朽化によ る。排水路を更
実施期間	開始年度	平 成 2	26 年度から				
大 心 粉 间	終了年度	令 和	年度まで				
事業の	内容	道路もしくは水路にいて住みやすい生況対応するため側溝のる。	舌環境をつくる。ま	た、開渠側溝を	蓋付側流	溝へ整備し	、かつ豪雨に
日的海武石		苦情要望書に対し対	対応した件数				
│ 目 的 達 成 <i>0.</i> │	!)	区分年度 単位 目 標 %	2 年度 R3年度より指標の見直し	3 年度 100	4	年度 00	5年度 100
		実 績 %	R3年度より指標の見直し	78			
指標設定の	考え方	令和3年度より指標 のについて全て改善	を見直し、当事業 善したときの指標:	きに関する苦情要 を100%とする。	望書に	対応すると	≃回答したも
計画時の懸案	事項	排水路整備につい 機能強化が必要な 必要がある。防草萃 ど地域住民の協力 高齢社会に伴い管 策を進めていく。	箇所がある。町財 対策や草刈りにつ こよって維持管理	政と協議しつつ いては、これまで されていた箇所	非水路 ラブア- のなかっ	整備を早急 ースや道路 で、社会情	に進めていく 愛護デーな 勢の変化や
計画時の懸案事項	[への対応	排水路整備につい 本的な排水路の見 ついては地域からの	直しについては引	き続き予算確保	_		

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 #DIV/0! 円

※負担額には国費	· 県費は含まれ、	ていません(千円)

項	目	2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	5 年度予算
	①人工数	0.1	0.1	0.1	0.1
事務量	②人件費単価	7,652	7,179	7,898	7,898
争伤里	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×2-3)	765	717	789	789
	直接事業費	22,400	16,300	25,600	26,600
事業費	人 件 費	765	717	789	789
	合 計	23,165	17,017	26,389	27,389
	国庫支出金	0	0	0	0
	県 支 出 金	0	0	0	0
財源内訳	地 方 債	0	0	0	0
划冰内武	その他	0	0	0	0
	一般財源	23,165	17,017	26,389	27,389
	合 計	23,165	17,017	26,389	27,389

事業費計画 (千円)

-											\ 1 1 3/
	区分/年度	2	年 度	3	年 度	4	年 度	5	年 度	6	年 度
	目 標		22,400		16,300		25,600		26,600		25,600
	実 績		21,949		14,319						

事業活動の実績(活動指標) ※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

		次 上段には日保	但で、「女には天	根 胆 どて れいて れいむ	人していたといっ
項目	単位	2 年度	3 年度	横胆をてれてれ記 4 年度	5 年度
排水路整備	件	2	1	2	2
77.75年開	IT	2	1		
維持補修	件	25	25		25
小庄1寸7円1岁	IT	32	30		

DO(実施)

				人でしている	
項	目	2 年度決算	3 年度予算	3 年度決算	4 年度予算
	① 人 工 数	0.1	0.1	0.1	0.1
事務量	② 人 件 費 単 価	7,652	7,179	7,022	7,898
争伤里	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×②-③)	765	717	702	789
	直接事業費	21,949	16,300	14,319	25,600
事業費	人 件 費	765	717	702	789
	슴 計	22,714	17,017	15,021	26,389
	国庫支出金	0	0	0	0
	県 支 出 金	0	0	0	0
財源内訳	地 方 債	0	0	0	0
以源内武	その他	0	0	0	0
	一般財源	22,714	17,017	15,021	26,389
	슴 計	22,714	17,017	15,021	26,389

	/- I	#	┰-	ᇊ
実抗	iH1 1	屈	灬	サママ マママ マママ マママ マママ マママ マママ マママ マママ マママ

自己評価 評価者 高橋 和也

5段階評価で評点を付けます。

	5 人		
 そもそも必 	ら要な事業か?	評点	判定
☑ 町民の=	ニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	
☑ 緊急性症	が高く、即時に実施しなければならない。	5	
☑ 実施した	ければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	Α
☑ 町民生》	舌や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施	する必要があるか?	•	
	も主体となることが法令等により定められている。 <mark>※該当する場合は左の口にチェ</mark>	ックしてく	ださい。
	f使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
☑ 民間等4	⊅国・県で実施するよりも効果的である。	4	Α
☑ 民間等	るいは国や県で類似事業を実施していない。 	5	
3. 実施内容	は適切か?		
①有効性			
☑ 久山町約	総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	
☑ 事業の=	手法・活動内容は適切である。	5	Α
☑ 事業の♬	戊果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性			
☑ 事業費Ⅰ	こ見合った成果を上げている。	5	
☑ 外部委請	モ等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	Α
☑ 実施方法	まの工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	5	
③公平性·:	透明性		
☑ 受益者負	負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	5	
☑ 事業費Ⅰ	こ占める一般財源の額は妥当である。	4	В
☑ ホーム^	《一ジや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

	今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの	0月点1.0月代的中家
			C見直しの具体的内容
1	A重点化(計画どおり	進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)	□ 実施方法の工夫
	B現状維持(計画どお	り進んでおり、現状のまま事業を進める)	□ 事業の効率化
	C見直し		□ 受益者負担の適正化
	D廃止		 □ 事業縮小
	E完了		□ その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

近年、短時間による局地的豪雨が増加し、甚大な被害を及ぼしている。

地元住民の排水路整備の関心は高まっており、本事業の必要性は高く、地元の要望に基づき、生活利便性の向上を目的とし排水路整備の計画・検討を行っているため、有効性・効率性も高い。

また緊急性、安全性、事業実施時期などを精査し、優先順位を決めて実施しているので公平性についても考慮されている。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

近年では毎年のように大雨警報が発令されている。排水路の老朽化、排水路が存在しない地区があるので、浸水被害を及ぼさないために排水路整備を早急に進めていく必要があるが、限られた予算の中で実施しているため進捗が遅い。また社会情勢の変化や高齢社会に伴い、今までラブアースや道路愛護デーなどで町民が維持管理に協力していた土地が管理できなくなっている。よって、適切な維持管理及び防草対策が今後の課題である。また草刈作業については地域差が大きくなっていることも課題である。

一次輕価 評価者 阿部 哲也 5段階評価で評点を付けます。

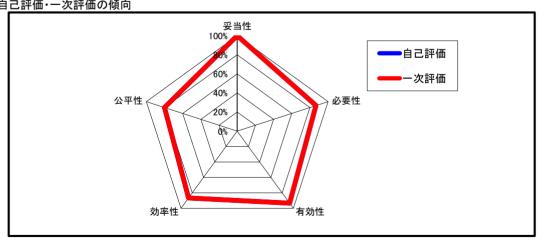
久 計画	ᄪ		5 大 → 小 1	\downarrow	
1. そもそも必	要な事業	か?		評点	判定
☑ 町民の二	一ズが高	い。ニーズが増加傾向であ	5 る。	5	
☑ 緊急性が	「高く、即日	時に実施しなければならな し	, \ ₀	5	Α
☑ 実施しな	ければ町	民生活に及ぼす影響が大	きい。	5	^
② 町民生活	や町の1	′メージアップの向上に寄与	- する。	5	
2. 町が実施す				•	
□ 町が実施	主体とな	ることが法令等により定め	られている。 ※該当する場合は左の口にチェ	ックしてくカ	ださい。
☑ 公権力行	ī使、ある	いは政策判断を伴い、民間]等では実施できない。	4	
		実施するよりも効果的であん		4	Α
☑ 民間等あ	るいは国]や県で類似事業を実施して	ていない。	5	
3. 実施内容(<u>は適切か</u>	?			
①有効性					
			けるために有効な事業である。	5	
		内容は適切である。		5	Α
	大果達成物	状況や進捗状況は順調であ	ාරිං	4	
②効率性					
		成果を上げている。		5	
		管理者を含む)による効率		3	Α
		こより効果を維持しながらコ	スト削減を図っている。	5	
③公平性•遗					
			受益者負担を求めることが適当でない。)	5	_
		般財源の額は妥当である。		4	В
☑ ホームペ	ージや広	報を活用し、積極的に情報	を公開している。	3	

	A // a - L - L	A・B=目標達成できたもの		
	今後の方向性	C・D=目標達成できていないもの	(見直しの具体的内容
		んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)		実施方法の工夫
1	B現状維持(計画どおり	進んでおり、現状のまま事業を進める)		事業の効率化
	C見直し			受益者負担の適正化
	D廃止			事業縮小
	E完了			その他

<u>ー次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)</u>

本事業は、町民の生活と密接な生活排水路整備や草刈り等についての事業であり、町民の皆様が各行政区長に相談され提出いただいた苦情・要望について対応しているものが主となっている。このため、緊急性、安全性、実施時期等を構造している。また、近年は線状降水帯による短時間に集中する豪雨も増加しており、町内の排水 路未整備地区への整備を計画的に進めているものである。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価·改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照 $N_{0.5}$ らし合わせ評価を行う。

二次	評価	評価者	=	井上 英	貴											
	A以下の	点につい	て良好と	:評価し、	コストを	広充	し更な	よる事	業推進	を図る	5.					
/	B計画どおり、現状のまま事業を継続する。															
	る生活環	、町民の 境施設の られている	維持管													
□ C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。																
	D事業廃.	止と判断し	ン、外部	評価委員	会に諮	るこ	ととす	る。								
														外部評値 で評価す	る。	会日
	F事業の	目的を達成	成し、事	業完了し	ナーと判断	fす?	る 。							開催予定	Ē	
	一次評価	iは以下の	点で問	題がある	又は判	断さ	れるた	_め、-	-次評信	西の見	直しを	<u>求め</u> る) o			
													+	一次評値 直し、 月 までに摂		日
														<u> </u>		
															5終了 78評価	

ACTION(評価·改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.6

外部割	平価				_			
		今後の方向		達成できたもの 達成できていないもの	C見直しの具体的内容			
		A重点化(計画 B現状維持(計 C見直し D廃止 E完了	ででおり進んでおり、コストを け画どおり進んでおり、現状	拡充し、更なる事業推進を図る)	□ 実施方法の工夫 □ 事業の効率化 □ 受益者負担の適正化 □ 事業縮小 □ その他			
	評価		外部評価委員の意見 	,				
経営者		**************************************	町長					
				_	_			
		今後の方向		達成できたもの 達成できていないもの	C見直しの具体的内容			
		A重点化(計画 B現状維持(計 C見直し D廃止 E完了	□どおり進んでおり、コストを 十画どおり進んでおり、現状	拡充し、更なる事業推進を図る)	実施方法の工夫			
	評価		経営者会議の結果					
1								
	令和	5 年度予算	「要求事項(今後の取り組∂	(})				